

グラウンドアンカー設計・施工基準、同解説（JGS 4101 -2012）正誤表

2018年12月27日

No.	訂正の反映	頁	該当箇所	誤	正
1	第2刷 (2012/11/15)	p. 1	上から3行目	JGS 4101-2010	JGS 4101-2012
2	第3刷 (2016/3/15)	p. 13	7.4 材料の保管	材料の化学物質等安全データシートを明示する。	材料の化学物質等安全データシートを明示する。
3	第3刷 (2016/3/15)	p. 15	7.14 記録	必要なデータについては、記録し保存する。	必要なデータについては、記録し保存する。
4	第3刷 (2016/3/15)	p. 20	1.1 適用範囲 解説文	当該システムを使用し監理する担当者と	当該システムを使用し管理する担当者と
5	第3刷 (2016/3/15)	p. 25	2.1 用語 解説図-2.2	テンドン長拘束長	テンドン拘束長
6	第2刷 (2012/11/15)	p. 35	上から13行目	定着部	定着具
7	第2刷 (2012/11/15)	p. 45	下から1行目	J I S A 6204-2006	J I S A 6204-2011
8	第2刷 (2012/11/15)	p. 46	上から1行目	J I S A 6202-1997	J I S A 6202-2008
9	第2刷 (2012/11/15)	p. 46	上から14行目	ガラス転位点が・・・	ガラス転移点が・・・
10	第2刷 (2012/11/15)	p. 55	上から13行目	複極作用	復極作用
11	第2刷 (2012/11/15)	p. 60	上から7行目	材料	材質
12	第2刷 (2012/11/15)	p. 65	下から5行目	設置部	設置地盤

グラウンドアンカー設計・施工基準、同解説（JGS 4101 -2012）正誤表

2018年12月27日

No.	訂正の反映	頁	該当箇所	誤	正
13	第2刷 (2012/11/15)	p. 67	下から2行目	アンカー体がくるように	アンカー体を設置するように
14	第2刷 (2012/11/15)	p. 73	解説図-6.7 の説明	拘束具の引抜け	②拘束具の引抜け
15	第3刷 (2016/3/15)	p. 81	6.8 構造物全体の安定 解説文	深いすべり面の安定については、Kranzs の方法等により	深いすべり面の安定については、Kranz の方法等により
16	第2刷 (2012/11/15)	p. 81	下から6行目	Kranz の方法およびアンカー体を設置しない領域の例について	アンカー体を設置しない領域の例について
17	第3刷 (2016/3/15)	p. 89	7.4 材料の保管 本文 (2)	材料の化学物質等安全データシートを明示する。	材料の化学物質等安全データシートを明示する。
18	第3刷 (2016/3/15)	p. 89	7.4 材料の保管 解説文	化学物質安全データシートの内容	化学物質安全データシートの内容
19	第3刷 (2016/3/15)	p. 104	8.1 一般 解説表-8.1 枠外 注3)	初期加重	初期荷重
20	第3刷 (2016/3/15)	p. 112	8.6 その他の試験 解説文	(3) 定着時緊張力確認試験 (4) 残存引張り力確認試験	(3) 定着時緊張力確認試験 (リフトオフ試験) (4) 残存引張り力確認試験 (リフトオフ試験)
21	第3刷 (2016/3/15)	p. 113	8.6 その他の試験 解説文	(3) 定着時緊張力確認試験	(3) 定着時緊張力確認試験 (リフトオフ試験)
22	第3刷 (2016/3/15)	p. 113	8.6 その他の試験 解説文	(4) リフトオフ試験	(4) 残存引張り力確認試験 (リフトオフ試験)
23	第2刷 (2012/11/15)	p. 134	下から6行目	定着体 (2箇所)	アンカー体
24	第3刷	p. 152	付録5-5 水密性基準の例	水密性基準の例 (NEXCO 基準 JHS 122)	水密性基準の例 (NEXCO 基準 試験法 122-2010)

No.	訂正の反映	頁	該当箇所	誤	正
	(2016/3/15)				
25	第3刷 (2016/3/15)	p. 186	付録8-3 基本調査試験 (2) 長期試験 3) 試験結果の整理と判定 式(8.2)	$R_0 = -\frac{P_2 - P_1}{\log t_2 - \log t_1}$	$R_0 = \frac{-(P_2 - P_1)}{\log t_2 - \log t_1}$
26	第3刷 (2016/3/15)	p. 187	付録8-3 基本調査試験 (2) 長期試験 3) 試験結果の整理と判定 付録図-8.8(c)	$R_0 = K_a' \times \frac{(S_2 - S_1)}{\log t_2 - \log t_1}$	$R_g = K_a' \times \frac{(S_2 - S_1)}{\log t_2 - \log t_1}$
27	第3刷 (2016/3/15)	p. 188	付録8-3 基本調査試験 (2) 長期試験 3) 試験結果の整理と判定 式(8.6)	$P'_e = P_t - P_a \log t_e$	$P'_e = P_t - R_a \log t_e$
28	第3刷 (2016/3/15)	p. 194	付録8-4 適性試験 2) 判定 付録図-8.12	$\log \frac{t_b}{t_a}$	$\log \frac{t_b}{t_a}$
29	第3刷 (2016/3/15)	p. 194	付録8-4 適性試験 2) 判定 付録図-8.12	$S_b \cdot S_a$	$S_b - S_a$
30	第2刷 (2012/11/15)	p. 96	上から6行目	アジテートミキサー	ミキサーとアジテーター

グラウンドアンカー設計・施工基準、同解説（JGS 4101 -2012）正誤表

2018年12月27日

No.	訂正の反映	頁	該当箇所	誤	正
31	第2刷 (2012/11/15)	p. 96	上から7行目	アジテートミキサー	ミキサー
32	第2刷 (2012/11/15)	p. 104	解説表-8.1 8)各サイクル最大荷重(例) 引抜試験	$0.4T_p, 0.7T_p, 0.8T_p, 0.9T_p, 1.0T_p$	$0.40T_p, 0.55T_p, 0.70T_p, 0.80T_p, 0.90T_p, 1.00T_p$
33	第2刷 (2012/11/15)	p. 104	解説表-8.1 8)各サイクル最大荷重(例) 適性試験	$0.4T_p, 0.55T_p, 0.7T_p, 0.85T_p, 1.0T_p$	$0.40T_d, 0.60T_d, 0.80T_d, 1.0T_d, 1.00T_p$
34	第2刷 (2012/11/15)	p. 104	解説表-8.1 9) 荷重保持時間 履歴内荷重	1~2min	1~2min ^{注5)} 注5) 目安であり、変位が安定したことを確認後に次ステップに進む。
35	第2刷 (2012/11/15)	p. 104	解説表-8.1 9) 荷重保持時間 変位の安定 適性試験	通常：クリープ係数 $\Delta c \leq 0.5\text{mm}$ 時間延長：クリープ係数 $\Delta c \leq 2.0\text{mm}$	通常： $t_b/t_a = 3.0$ で変位 $\Delta s \leq 0.5\text{mm}$ 最大試験時間：クリープ係数 $\alpha \leq 2.0\text{mm}$
36	第2刷 (2012/11/15)	p. 104	解説表-8.1 9) 荷重保持時間 変位の安定 確認試験	1mm/3min 以下	砂質土・岩盤：2~5分の間の変位 $\Delta s \leq 0.2\text{mm}$ 粘性土：5~15分の間の変位 $\Delta s \leq 0.25\text{mm}$ 最大試験時間：クリープ係数 $\alpha \leq 2.0\text{mm}$
37	第2刷 (2012/11/15)	p. 104	解説表-8.1 9) 荷重保持時間	9) 荷重保持時間	9) 荷重保持時間 ^{注6)} 注6) 荷重保持時間の中で、変位が安定したと判断できる場合は、荷重保持時間を短縮してもよい。
38	第2刷 (2012/11/15)	p. 178	上から3行目	圧力変換機	圧力変換器
39	第2刷 (2012/11/15)	p. 179	上から8行目	解説表-6.5	解説表-6.6

No.	訂正の反映	頁	該当箇所	誤	正
40	第2刷 (2012/11/15)	p. 181	上から7行目	付録6-9を参考にして・・・	付録図-6.9を参考にして・・・
41	第2刷 (2012/11/15)	p. 182	付録表-8.2	荷重保持時間	荷重保持時間 (min)
42	第2刷 (2012/11/15)	p. 185	付録図-8.7 載荷計画の一例 (長期試験)	解説表-8.4参照	付録表-8.4参照
43	第2刷 (2012/11/15)	p. 188	上から2行目	P_e	P'_e
44	第2刷 (2012/11/15)	p. 189	付録表-8.6	最小測定時間	荷重保持時間 (min)
45	第2刷 (2012/11/15)	p. 192	式(8.7)	$\alpha = \frac{S_h - S_a}{\log(t_b/t_a)}$ ※式中の $S_h - S_a$	$\alpha = \frac{s_b - s_a}{\log(t_b/t_a)}$ ※式中の $s_b - s_a$
46	第2刷 (2012/11/15)	p. 192	上から2行目 (式の下)	S_b, S_a :	s_a, s_b :
47	第2刷 (2012/11/15)	p. 193	下から, 1行目 (表の上の行)	付録表-8.6に記載して・・・	付録表-8.8に記載して・・・
48	第2刷 (2012/11/15)	p. 194	上から1行目	$t_b/t_a=0.3$ となるのインターバル	$t_b/t_a=3.0$ となるインターバル
49	第2刷 (2012/11/15)	p. 194	上から5行目	試験最大時間	最大試験時間
50	第2刷 (2012/11/15)	p. 194	下から5行目の式	$\alpha_1=(s_b-s_a)/1g(t_b/t_a)$	$\alpha=(s_b-s_a)/1og(t_b/t_a)$

No.	訂正の反映	頁	該当箇所	誤	正
51	第2刷 (2012/11/15)	p. 194	下から3,4行目の記号の説明	S_a, S_b	S_a, S_b
52	第2刷 (2012/11/15)	p. 194	付録図-8.12 クリープ係数	t_p	t_b
53	第2刷 (2012/11/15)	p. 194	付録図-8.12 クリープ係数	$k_s < 1.0\text{mm}$ (アンカー1の曲線上)	【削除】
54	第2刷 (2012/11/15)	p. 194	付録表-8.9	最小測定時間	荷重保持時間 (min)
55	第2刷 (2012/11/15)	p. 197	付録図-8.15	実践	実線
56	第2刷 (2012/11/15)	p. 198	付録図-8.16	T_p : 設計アンカー力 T_d : 計画最大荷重	T_p : 計画最大荷重 T_d : 設計アンカー力
57	第2刷 (2012/11/15)	p. 198	確認試験の判定	砂質土岩盤地盤 2~5分間で変位が0.2mm以下で、5分間のクリープ係数が2.0mm以下	砂質土岩盤地盤: 2~5分間で変位が0.2mm以下。変位がこれ以上ある場合は、荷重保持時間を10分に延長して、クリープ係数が2.0mm以下を確認する。
58	第2刷 (2012/11/15)	p. 198	確認試験の判定	粘性土 5~15分間で変位が0.2mm以下で、5分間のクリープ係数が2.0mm以下	粘性土: 5~15分間で変位が0.25mm以下。変位がこれ以上ある場合は、荷重保持時間を30分に延長して、クリープ係数が2.0mm以下を確認する。
59	第2刷 (2012/11/15)	p. 198	付録表-8.10の一番下	α_1	α
60	第2刷 (2012/11/15)	p. 198	付録表-8.10の最大試験時間	≥ 5 ≥ 15	≥ 10 ≥ 30